

1 平成17年度 まちづくり推進グループの事業紹介

元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業

まちづくり推進グループの事業で「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」を紹介いたします。

この事業は、平成16年度に新規の県単独事業として創設され、本県の多彩な風土や観光資源、地域資源の活用など、持続的成長が可能な地域づくりや交流人口拡大を目指し、地域団体・住民や市町村と連携しながら地域づくりの計画を策定し、各主体の役割のもとソフト・ハード両面から地域活性化の仕掛けづくりと基盤の整備に取り組む事業です。

平成16年度は、白河市の南湖公園地区で、公園が造られた約二百年前の美しい姿を復元するため、市民と行政が一体となって、南湖の水質浄化をはじめ景観の保全、観光資源の掘り起こしや公園内を通る自動車が自然環境を悪化させていることから道路を通行止めにする社会実験を実施するなど、各地区で事業に着手しました。

平成17年度は、引き続き県民の皆さん一人一人が、地域に愛着と誇りを持ち、参加、連携・協力の下、活力ある地域づくりに積極的に取り組む地区を対象として、重点的に事業を推進していきます。

質問コーナー

Q 参加、連携・協力ってどういうこと？

A まちづくりは、皆さんが自分たちのまちに愛着と誇りを持ち、自発的・自主的に行うことが重要です。皆さんが積極的にまちづくりに参加し、行政がそれらの活動と連携・協力することにより、一体的・総合的な、かつ持続的成長が可能なまちづくりができると考えております。

Q 交流人口ってなに？

A 県外からの観光客及び、県内の地域間交流など、その地域を訪れる人々を交流人口と考えています。

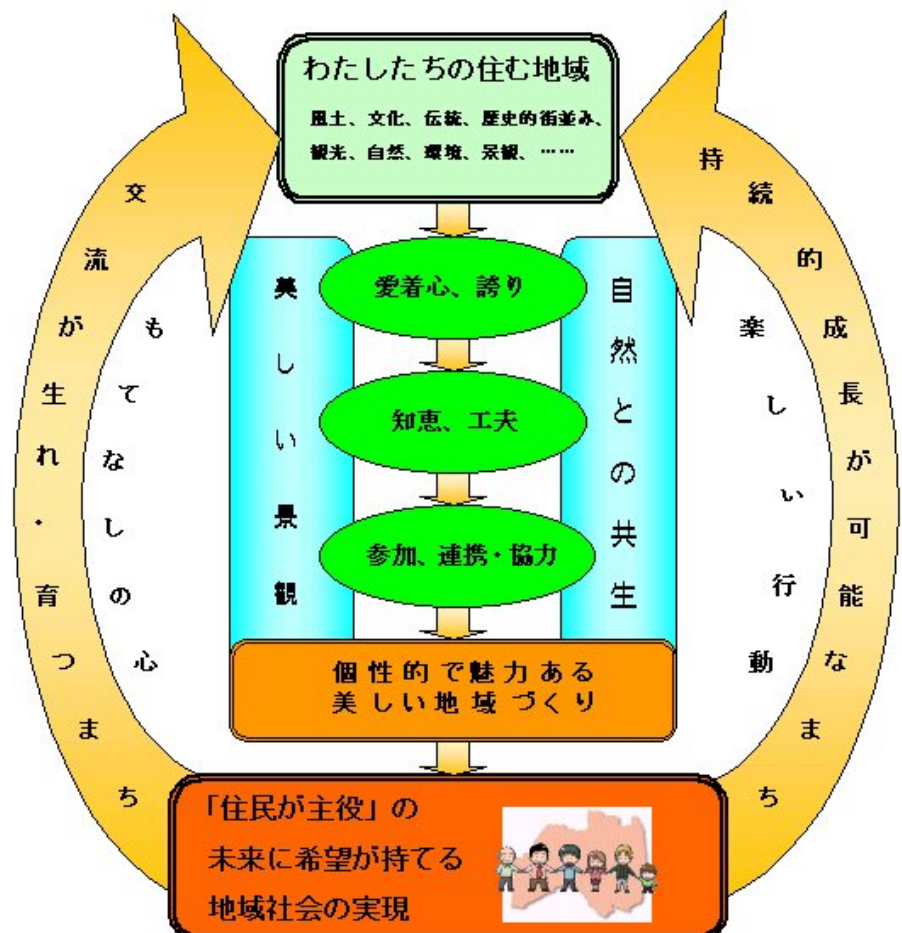
Q 地域資源ってなに？

A 地域の文化や伝統、歴史的街並みや建造物など
温泉やスキー場、娯楽施設などの観光資源など
豊かな自然や良好な景観などといった、その地域特有の財産です。

Q 事業の詳しい内容はどこに聞けばいいの？

A 県庁まちづくり推進グループ又は各建設事務所（県北、県中、県南、会津若松、喜多方、南会津、相双、いわき）企画調査グループにお問い合わせ下さい。

元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業理念



2 「県外のまちづくり情報」 ～岐阜県高山市、飛騨市（旧古川町地区）～

（1）岐阜県高山市

岐阜県の北部飛騨の中央高山盆地に位置し、「小京都」とも呼ばれています。同市では古い町並みを生かした独自の施策を展開している一方で、バリアフリー施策の推進や朝市等による賑わいの創出も行い、市民と観光客がともに住み良いまちづくりを推進しています。

平成17年2月に近隣9町村と合併し、日本一の面積を有する新高山市が誕生しました。

市街地景観保存の経緯

- ・昭和41年 三之町町並保存会が住民の手により組織され、住民先行の形で町並保存事業が進められました。
- ・昭和47年 高山市環境保全基本条例、高山市市街地景観保存条例が制定されました。
- ・昭和48年 町並・景観保存会の結成、市街地景観保存地区が指定されました。
- ・昭和54年 市街地景観保存地区の一部が三町伝統的建造物群保存地区（文部省）に選定されました。
商店街地区（3カ所）の住民を主体に建築協定が締結されました。
- ・現在 高山市市街地景観条例に基づき、個人への補償、維持管理費に係る保存会への補助等を実施しています。



上三之町伝統的建造物群保存地区



上三之町伝統的建造物群保存地区



下二之町伝統的建造物群保存地区の周辺状況
（宮前橋：まちづくり交付金）



歩道のバリアフリー化（段差解消）

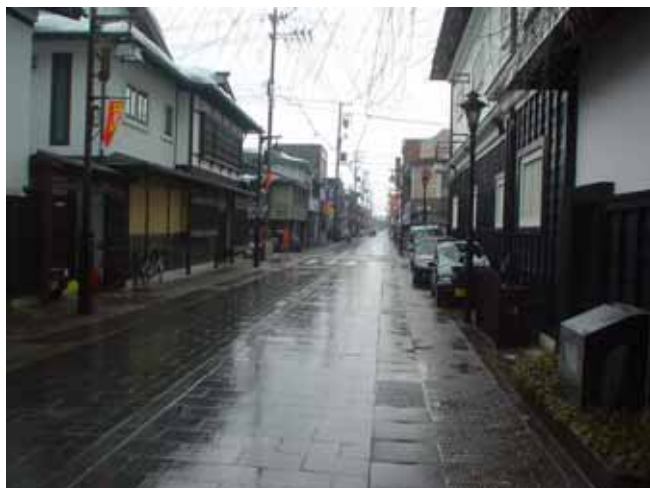
(2) 岐阜県飛騨市(旧古川町地区)

岐阜県の最北端に位置し、岐阜市から約150km、高山市の北約15kmの位置にあります。旧古川町地区では、白壁土蔵と瀬戸川・古い町並みを生かしたまちづくりを展開しています。平成15年度には「美しいまちなみ大賞」(国土交通省)を受賞しています。

平成16年2月に2町2村が合併し飛騨市が誕生しました。

街並み景観への取組み経緯

- ・明治37年 大火により市街地のほぼ全域が焼失(旧古川町地区では伝統的建造物群保存地区には指定されていない)してしまいました。
- ・昭和43年 町民が瀬戸川に錦鯉約200匹を放流しました。
- ・昭和61年 日本ナショナルトラストによる「街なみ調査」が実施(東京大学 西村研究室と合同)されました。
- ・平成 元年 日本トラストにより「飛騨の匠文化館」(設計 清家清氏)が開館しました。
- ・平成 4年 瀬戸川修景整備工事完成 「古川まつり会館」,「飛騨の三樵館」開館しました。
- ・平成 6年 古川町都市景観研究委員会設立(町民約80名参加)されました。
- ・平成 7年 古川町都市景観研究委員会の報告書に基づき「古川町景観基本計画」を制定しました。
- ・平成 8年 「飛騨古川景観条例」,「古川町市街地住環境整備計画」,「伝統的市街地における建築デザインガイドライン」が策定されました。
「街なみ環境整備事業」,「ウォーキング・トレイル事業」に着手しました。
- ・平成12年 「古川駅前広場整備事業」に着手しました。
- ・平成15年 「美しいまちなみ大賞」を受賞しました。



壱之町地区のまちなみ(散水消雪施設、電話線の地中化、電力線ボックスデザインへの配慮)



壱之町地区のまちなみ



瀬戸川沿いのまちなみ



白壁土蔵と瀬戸川沿いのまちなみ

(2) 高山市・飛騨市のまちづくり

両市とも、昭和40年代から長きに渡り、住民自らがまちづくりに取り組んでいます。建築物の年代の差はあるものの、古い町並みの保存を主体としたまちづくりを連綿と続けています。

本物の街並み・景観を有していることの自信や誇り、それを守ろうとする意識の相乗効果が更なる発展を可能にしました。

観光施策に寄与するまちづくりのみならず、住民が住みよいまちづくりを展開しているからこそ、継続的・持続的に発展しています。

3 トピック～住民気質～

住民気質とまちづくり

皆さんの地域には、どのような住民気質がありますか。

前述した飛騨市（旧古川町地区）には次のような住民気質があります。

- ・「やんちゃ」...住民が一致団結して創意と工夫により、一つの目標に向かっていく。
- ・「そば」.....ルールを守っていこうとする気質を表し、ルールを破ることを「そばくづし」と言われて嫌われる。
- ・「こうと」.....地味で質素ながらも上品な気質や品格を表す言葉。

旧古川町地区では、これらの気質と町家建築を担う匠の技が融合し、ルールと技による町並み形成が持続的に行われています。

皆さんの地域の住民気質をまちづくりにうまく生かすことで、持続的なまちづくりが可能となるかもしれません。

4 ちょっと一息

世界遺産

今回「県外のまちづくり情報」で紹介しました岐阜県では、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が世界遺産に登録されています。

合掌造りの建物に泊まることもできますので、興味のある方は、訪れてみてはいかがでしょうか。



5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol.16」はいかがでしたでしょうか。

今後も充実した内容となるよう努力していきたく思いますので、取り上げて欲しい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等（送信エラーの際のご連絡のため）、よろしければ、5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。（E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp）

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】 福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp

URL: <http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html>